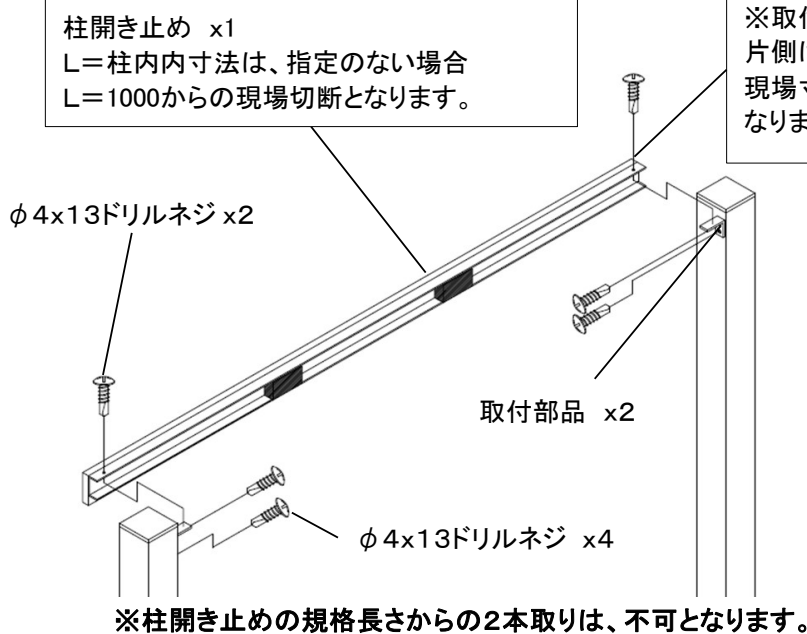


■ 梱包明細表

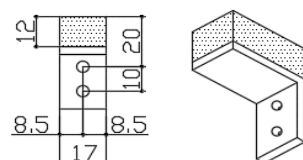
注意

- 開梱時に部品の種類と数量を確認してください。
- 商品に異常がないことを確認してください。
- 柱開き止めはブロック施工以外の場合に使用してください。

名称・略図・数量



取付部品治具 x1



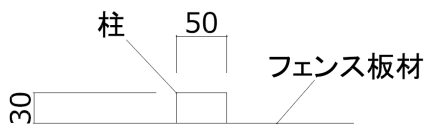
※柱開き止めの規格長さからの2本取りは、不可となります。

■ 取付寸法

注意

- 板最上段(最上段用すきま材の下端)と柱開き止め上端が一致するように取付部品の位置決め(※寸法)を正確に行ってください。

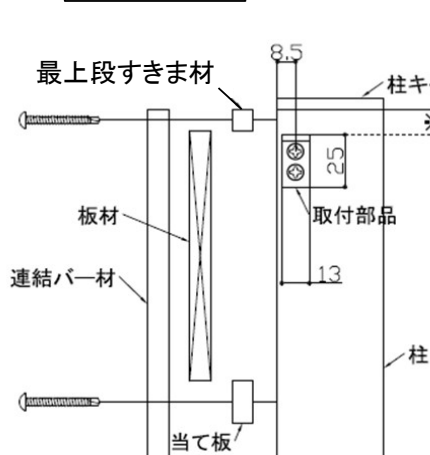
※50×30角柱の施工について
50×30角柱に施工する場合には必ず50の面を板材に取付けてください。



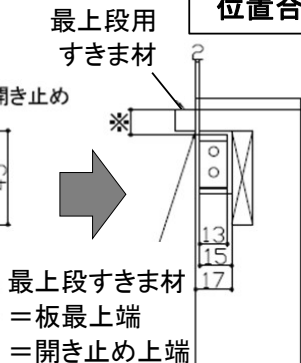
※柱芯芯1000mmスパンの場合

	柱角数	柱内内=柱開き止め長さ
アルミ柱 (ラミネート)	35×35	965
	40×40	960
	50×30	950
	50×50	950
	60×60	940
コート柱	40×40	960
	52×52	948

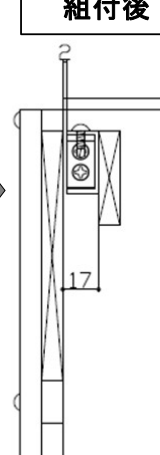
組付前



位置合せ



組付後



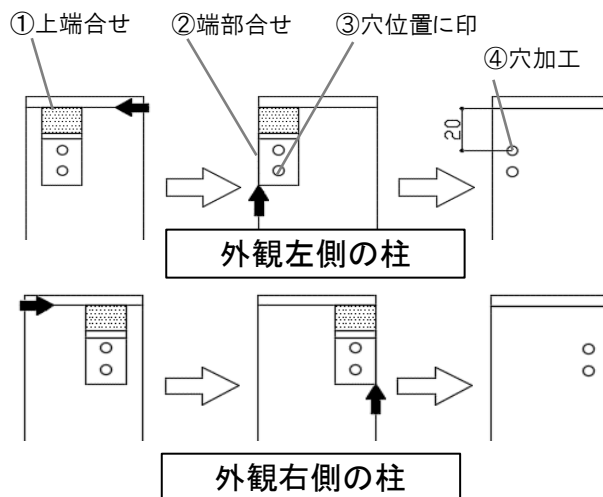
■取付について

1 取付穴加工 (治具: 最上段当て板高さ10mm用)

- ①取付部品治具の上端をキャップ下端に合わせます。
- ②アルミアングルの左端を柱端部に合わせます。
- ③穴位置に印を付けます。
- ④Φ3.3~3.5の穴加工をします。

※取付部品治具は、左右兼用で使用できます。

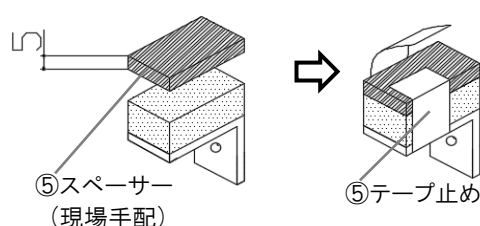
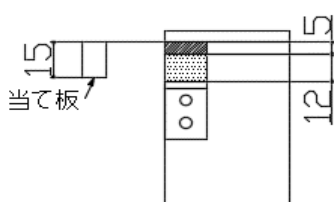
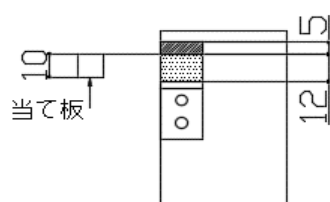
- ⑤すきま材を少し下げたり、10mm超のすきま材を使用する場合は、必要分のスペーサー(現場手配)をテープ止めして使用してください。



例) 最上段当て板上部の隙間5mm

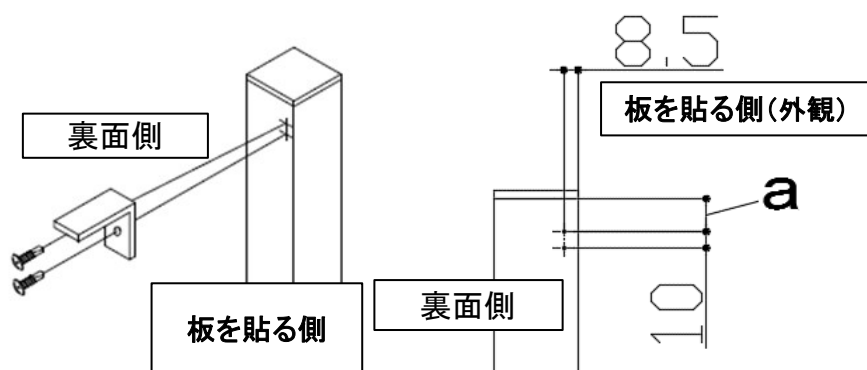
例) 最上段当て板15mm

スペーサーの貼付 例) 5mm厚さ



2 取付金具の取付け

- ①φ4×13ドリルネジで取付部品を柱に固定します。



※取付部品治具使用時のa=20mm、例題の5mmスペーサーを使用した場合は、a=25mmとなります。

3 柱開止めの取付

- 柱開き止めを、φ4×13ドリルネジで取付け部品に固定します。
- ※ネジ取付前に、φ3.3~3.5の下穴加工をしてください。

